2026年11月13日

各位

会 社 名　　株式会社インティメート・マージャー
代表者名　　代表取締役社長　簗島　亮次
（コード番号：7072　東証グロース）
問合せ先　　管理本部部長　寒澤　陽平
（電話番号：03-5114-6051）

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年11月14日に公表しました2026年9月期（2025年10月1日～2026年9月30日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.　2026年9月期　通期連結業績予想値と実績値の差異

（単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	3,704	284	283	185	円 銭 59.72
実績値（B）	3,649	328	334	242	77.45
増減額（B－A）	△55	43	50	57	-
増減率（%）	△1.5	15.2	17.9	31.2	-
（ご参考）前期実績（2025年9月期）	3,363	227	229	153	47.32

2. 2026年9月期　通期個別業績予想値と実績値の差異

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	3,710	277	182	円 銭 58.95
実績値（B）	3,654	332	242	77.34
増減額（B－A）	△55	55	59	-
増減率（%）	△1.5	19.9	32.7	-
（ご参考）前期実績（2025年9月期）	3,369	223	150	46.28

3. 差異の理由

売上高につきましては、AI の進展等により広告運用が容易になり、顧客企業における広告運用の内製化が進んだことで、当社の広告配信環境を利用するマーケティング支援から、データのみを提供し顧客の環境下で広告配信を行うデータマネジメント・アナリティクスへの移行が想定以上に進みました。マーケティング支援においては媒体費も含めた総額で売上高を計上しているため、当該移行に伴い売上規模が縮小し、前回予想を若干下回る結果となりました。

連結営業利益につきましては、利益率の高い商材への移行が想定以上に進んだことに加え、Performance DMP において配信手法の改善により利益率が向上したことで、売上総利益が前回予想を上回りました。一方、販売費及び一般管理費は、退職者が想定を下回り中途採用も順調に進んだことによる人件費の増加や、展示会出展の増加等により前回予想を上回りましたが、売上総利益の増加がこれを吸収し、前回予想を上回る結果となりました。連結経常利益につきましても、営業利益の増加により前回予想を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、賃上げ促進税制の適用により法人税等の負担額が前回予想を下回ったことから、前回予想を 31.2%上回る結果となりました。なお、個別業績における差異につきましても、主に同様の理由によるものであります。

以上